

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	令和4年度食品栄養科学部改革推進費				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	三浦 進司
	研究分担者	所属・職名	食品栄養科学部	氏名	全主任教員
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	三浦 進司

講演題目	令和4年度食品栄養科学部改革推進費
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>○目的</p> <p>食品栄養科学部における教育・研究の推進を目指すため、学部運営に関する事務機能の強化を図るべく、以下の補助事業を遂行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部長及び教員が行う事務一般に対する補助 2. 図書費 <p>○成果</p> <p>2022年度においては、講義および実験実習の充実を図ることを目的に、第2期中期計画中に完成させた専門教育カリキュラムを実施しつつ、その検証をおこなった。</p> <p>昨年度同様コロナ禍であったが、栄養生命科学科では7年目となる栄養教諭教職課程、食品生命科学科と環境生命科学科では4年目となる理科教諭教職課程に関する教育を確実に進めることができた。履修者は、4年生：栄養9名、食品4名 3年生：栄養10名、食品1名 2年生：栄養5名、食品4名、環境3名 1年生：栄養12名、食品7名、環境8名</p> <p>また、食品生命科学科に加え、2020年4月から栄養生命科学科と環境生命科学科でも開始した食品衛生管理者・食品衛生監視員養成施設としての教育についても順調に進めることができた。</p> <p>事務的な業務を担う人件費として、主にこの予算を執行した。その結果、教員の事務業務量が著しく軽減された。</p> <p>○今後の展望</p> <p>今後、食品栄養科学部の教育・研究・社会貢献の更なる推進のためにも、引き続き事務的な業務を行う人材の確保が必要であると思われる。2023年度以降も、その運営体制のもと、重要な案件を執行していく。</p>